



事例発表をする市内事業所担当者（右）と講師の佐野さん

市は、男女共同参画セミナーを2月11日、メイプル地下の市民活動支援センターを会場に開催しました。講師にE.Y.アドバイザリー（株）シニアコンサルタントの佐野香奈恵さんを招き、仕事と生活の調和を図るワーカ・ライフ・バランス（WLB）の観点から講演。残業削減や短時間正社員制度などを導入し、WLBに成功した事例なども紹介しました。講演後は、市内事業所によるWLBに関する取り組み事例の発表や、パネルディスカッションも行われました。

## ー仕事と生活の調和をみんなで考えるー



小野寺さんは表彰状と市長旗が贈られました

市は2月1日、前沢区のサン・フレックスタで開催された岩手ふるさと農協肉牛部会前沢支部第34回通常総会の席上で、小野寺正志さん（52）＝前沢区字北久保＝を前沢牛発展功績者として表彰しました。

小野寺さんは、25年11月1日の岩手ふるさと農協第47回前沢牛枝肉共進会で最優秀賞を受賞。枝肉1kg当たり3367円で年間最高販売額を記録しました。小野寺さんは「これまで賞に縁がなかったのでびっくりしている。これからも良い飼養技術を研究したい」と受賞の喜びをかみしめました。

## ー肉用牛優良生産者を表彰し、一層の発展に期待ー



展示室で、宮澤賢治と旧緯度観測所の関わりについて説明を受ける訪問団の皆さん

第30回奥州胆沢劇場公演に合わせて、姉妹都市・掛川市の公式訪問団10人が2月22日・23日の2日間、市を訪れました。初日は、正法寺での座禅体験や産直施設でのイチゴ狩りを楽しんだ後、奥州宇宙遊学館を見学。同館の大江昌嗣スーパー・バー・ザーから、国際リニアコライダーの実験モデルや展示品などの説明を受けました。2日目は、胆沢ダムを見学した後、旧胆沢町のころから事業交流のある胆沢劇場を観劇。手作りの市民劇に感動しながら、継続した交流を誓いました。

## ー掛川市の公式訪問団が来奥、継続交流を誓うー



事例発表を行う江刺愛宕地区振興会の菊地信夫生活安全部長

市は、市地域ぐるみ防災セミナーを2月8日、江刺総合支所で開催しました。本セミナーは、自然災害などから住民の命を守るために、地域ぐるみの防災活動の知識を学んでもらおうと毎年開催しているものです。この日は、各地域自主防災組織の役員や消防団、一般市民など約350人が参加。江刺愛宕地区振興会による自主防災組織活動の事例発表や㈱フロムいわて野田尚紀代表取締役を講師に迎えての講演に、参加者は災害時の対応に向けての準備を再確認しました。

## ー地域ぐるみの災害対応を再確認ー

# 地域の窓

このコーナーでは、各自治区の情報を掲載。また、各自治区が抱えている課題などを取り上げていきます。

## 江刺区

### 稻瀬地区センター建築に着手

かねてから移転新築を計画していた「稻瀬地区センター」の建築工事が始まりました。新しいセンターは、現在地から南西に約200㍍の場所に位置し、稻瀬体育センターと同じ敷地内に建設されます。

市立稻瀬わかば園とも近接することから、公共施設の相互活用による相乗効果も期待されます。完成は、平成26年6月の予定。これまで以上に、地域活動の拠点として活用される施設になります。

#### 【施設の概要】

▽建設場所	江刺区稻瀬字谷地16-1, 17
▽敷地面積	1,265.18m <sup>2</sup>
▽建築面積	654.98m <sup>2</sup>
▽延床面積	625.84m <sup>2</sup>
▽建築構造	鉄骨造平屋建



新しい衣里地区センターの立面図(南側)

## 衣川区

### 衣里地区センターは間もなく着工

衣里地区センターは、これまでサンホテル衣川荘隣にある衣川サイクリングターミナル（衣川区日向）の施設を借りていましたが、念願の地区センターが建設されます。

新しい地区センターは、地域の歴史的景観に配慮した木造建築です。会議室は、移動式間仕切りにより、大きさを変えることが可能。使用目的や規模に合わせた使い方ができるのが特長です。

26年3月6日に入札を行い、建設業者が決定。4月に着工、8月の完成を予定しています。

#### 【施設の概要】

▽建設場所	衣川区富田 44-1
▽敷地面積	2,440.00m <sup>2</sup>
▽建築面積	469.34m <sup>2</sup>
▽延床面積	402.45m <sup>2</sup>
▽建築構造	木造平屋建



新しい稻瀬地区センターの完成予想図



完成したモダンな公衆トイレ

水沢駅通りの大林寺入り口の公衆トイレは、老朽化のため平成25年3月に解体し、建て替えを行つてきましたが、このほど完成し、26年3月1日から供用を開始しました。この公衆トイレは、市の発展に寄与したいと、宗教法人大林寺（豊田祥真住職）が建築したもの。これを市が無償で借り受け、公衆トイレとして活用するものです。

内部には水洗式の男女トイレのほか、オストメイト対応で、ベビーベッドを備えた多機能トイレもあります。皆さん、きれいに使いましょう。

■問い合わせ||本庁生活環境課生活衛生係（内線216）

水沢駅通りの大林寺入り口の公衆トイレは、老朽化のため平成25年3月に解体し、建て替えを行つてきましたが、このほど完成し、26年3月1日から供用を開始しました。この公衆トイレは、市の発展に寄与したいと、宗教法人大林寺（豊田祥真住職）が建築したもの。これを市が無償で借り受け、公衆トイレとして活用するものです。

内部には水洗式の男女トイレのほか、オストメイト対応で、ベビーベッドを備えた多機能トイレもあります。皆さん、きれいに使いましょう。

■問い合わせ||本庁生活環境課生活衛生係（内線216）

## 水沢駅通りに公衆トイレが完成